

# 山田みやこの活動報告

平成30年11月10日(土)

## 女性への暴力を考える講演会に参加

### 心の傷からの回復

～モラルハラスメントを考える～

NPO法人 レジリエンス代表 中島幸子氏

内閣府調査 身体的暴力を受けたことがある

平成27年度 4人に1人

平成30年度 3人に1人

被害は女性だけではなく男性も。

モラルハラスメントとは直接的暴力が中心ではなく、精神的な暴力でDV・いじめ・虐待・性暴力など誰かを支配すること。被害者は常に緊張し、気が休まることなく疲弊していく。自信がなくなり、心にも身体にも影響が出る。本来なら自分が取らない行動を取るようになり、自分の意見が分からなくなる。モラルハラスメントは目に見えない暴力、報道されない暴力だが起きていないのではない。

性暴力被害は女性4人に1人が、男性6人に1人が受けているとも言われる。適切な情報発信が求められる。少年院で講演すると「安全な大人はどこにいるの？」と質問される。ほとんどの非行少年と言われる子はひどい虐待にあっている。しかし加害者は平然と何もなかったかのように生活している。

少年たちに希望を失ったまま世の中に出ていってほしくない。少年たちと向き合うこと、話を聴くことだけだと、心の傷は時間が経っても治るのは難しい。時間とは無関係、希望0%は絶望。しかし1%の希望が感じられれば一歩進める。

そのヒントは人とのつながりの中にある。安全と感じられる人と居場所だ。

### 平成30年度 女性への暴力を考える講演会

#### 心の傷からの回復

～モラルハラスメントを考える～

日時 平成30年11月10日(土) 13:00開場・13:30開演  
会場 ハルティ とちぎ男女共同参画センター ホール

#### プログラム

13:30～13:35 主催者あいさつ  
◇とちぎ男女共同参画センター 所長 松村 誠  
13:35～15:30 講演

#### 講師

NPO 法人レジリエンス代表

なかじま さちこ  
中島 幸子 氏



暴力被害にあった経験をきっかけに、トラウマの影響、被害者支援等について学び、米国の大学院にて法学博士号、ソーシャルワーク(社会福祉学)修士号を取得。

2003年、日本で「レジリエンス」を結成、暴力の影響を理解しトラウマに対応する方法を学ぶための「こころのcare講座」をスタート。当事者としての視点と支援者としての経験を踏まえ、毎年、DVや性暴力被害、トラウマの影響、被害者支援に求められることなどをテーマに、全国各地で多数の講演を行う。

主な著書に、「性暴力 その後を生きる」、「マイ・レジリエンス トラウマとともに生きる」、共著に「傷ついたあなたへく1>、く2>」など。

#### ～お願いと御案内～

- ☆席は、前から詰めてお掛けくださいますよう、御協力お願いいたします。
- ☆お手洗いはホール裏手です。なお、体調の悪くなった方は、お近くのスタッフまで、お声掛けください。
- ☆ハルティは全館禁煙です。喫煙は中庭を御利用ください。
- ☆携帯電話はマナーモードに設定をお願いします。
- ☆講座の録音・録画・写真撮影はお断りします。
- ☆非常口はステージに向かって右手奥です。緊急時はスタッフの誘導に従ってください。

